



雪崩・地すべり 研究センターたより

季刊・第56号
2011. 3月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事・地震の斜面災害調査・雪崩危険斜面の点検・トピックス（台湾の工業技術研究院能源與資源研究所訪問、地すべり講習会）・土研資料の発刊・研究紹介（集水井内観察カメラ）・転出者あいさつ

新潟県中越地方を震源とする

地震の斜面災害調査

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（M9.0暫定値）の翌日である3月12日に、新潟県中越地方を震源とする地震（暫定値M6.7）が発生しました。雪崩・地すべり研究センターでは、野呂所長、丸山、伊藤、ハスパトル、中村が3月14日から新潟県と長野県の被災地における斜面災害調査を実施しました。この調査報告の速報は、当センターのホームページに掲載してあります。

(URL:<http://www.pwri.go.jp/team/niigata/top.html>)



新潟県津南町辰口の雪崩と崩壊発生斜面



新潟県十日町市松之山区中尾の地すべり斜面

雪崩危険斜面の点検・調査と雪崩災害

2月3日、4日、7日、22日に、新潟県妙高砂防事務所管内、新潟県糸魚川地域振興局管内、上越森林管理署管内における雪崩危険箇所の点検・調査が行われました。当センターからは、野呂所長、伊藤、中村が関係機関からの依頼により合同の点検・調査に参加しています。

2月22日に行った上越森林管理署管内妙高市燕温泉では、点検の結果、雪崩の発生を予



上越森林管理署管内での点検

防する雪崩予防柵に堆積した雪を除去することになりました。

この斜面では、3月3日午前0時40分頃に表層雪

妙高市燕温泉での雪崩調査
崩が発生しました。発生した雪崩の規模は、長さ約100m、幅20~25m、厚さ約1mと推定され、斜面下の土産物店の窓ガラス2枚と物置の戸板が破損する被害が出ました。大きな災害にならなかったのは、点検結果に基づき雪崩予防柵に堆積した雪を除去していたこととも考えられます。



トピックス

■台湾の工業技術研究院能源與資源研究所訪問

1月17日から21日にかけて、当センターのハスパートルと中村が土砂管理研究グループの台湾訪問団の団員として、地



すべりチームと台湾の工業技術研究院能源與資源研究所を訪れました。この訪問では、1999年の集集地震による九份二山（きゅうふんにさん）地すべり、1998年の台風による湾潭（わんたん）地すべり及び温泉地帯に位置する廬山（ろさん）地すべりを視察し、台湾における地すべりに対する研究、対策の現状、方法などについての情報を収集しています。また、ハスパートルは、「中越地震と岩手・宮城内陸地震により発生した地すべりの分布と規模の特徴について」紹介しました。

■地すべり講習会

2月23日に、長野県飯山市役所において飯山・中野地すべり協議会の「地すべり講習会」が開催されました。

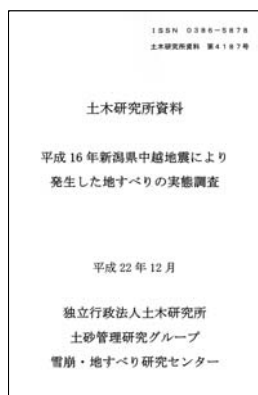


この講習会は、飯山・中野市に顕在する地すべり危険箇所の斜面安定促進に寄与するために、会員の技術研鑽を目的に開催されたものです。当センターからは丸山が講師として参加し、「地すべり・雪崩災害の防止」と題して講演をしました。

土木研究所資料4187号の発刊

本資料は、平成16年新潟県中越地震によって発生した地すべりについてまとめたものです。主な内容は、発生した地すべりの規模、移動量、移動方向、平面形状、地すべり発生場の地形・地質などのまとめと考察です。巻末資料には、①中越地震で発生した地すべりの震源断層からの距離、地形などの一覧表、地すべりの位置、平面図、断面図、②中越地震により発生した地すべりのすべり面に関する文献一覧表が掲載されています。

なお、本資料は、当センターのホームページ（URL:<http://www.pwri.go.jp/team/niigata/top.html>）でダウンロードできます。



研究紹介

■集水井内観察カメラ

集水井の維持管理用に、集水井内の状況を地上から観察できるカメラを考案・試作しましたので紹介します。

【特徴】

- ・集水井の内部に入ることなく深部の観察が可能（ケーブル長 30m）
- ・商用電源、発電機は不要（バッテリーを搭載）

【留意点】

- ・集水井の蓋にカメラ挿入用の穴（φ20cm以上）が必要

【仕様】

- ・本体サイズ：64cm×40cm×216cm（組立時）
40cm×64cm×83cm（分解時）
重量2.5kg、ロッド1.7m（1本）、2m（14本）
- ・使用継続時間 約120分（使用条件により変化）



集水井内観察カメラ 撮影した集水井内部の状況

転出者あいさつ

■専門研究員 ハスパートル（H20.12～H22.3在籍）

3年4ヶ月にわたり専門研究員としてお世話になりました。心よりお礼申し上げます。期間中には主に地震による地すべりの研究に集中することができ、大変有益な経験でした。

今後は、雪崩・地すべり研究センターで積んだ研究経験を生かし、自然災害の軽減、防止に貢献したいと思います。



雪崩・地すべり研究センターに関する記事は、ホームページにも掲載しておりますので、ご覧下さい。

発行：独立行政法人 土木研究所 つくば中央研究所
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター
住所：〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8
TEL:0255-72-4131 FAX:0255-72-9629 URL:<http://www.pwri.go.jp>
掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。